

愛知から世界へ、未来へ

| 討論会

2024年7月21日（日）討論会を行いました。

奨学生討論会の目的は「奨学生同士の交流」と「異文化理解」です。

討論会という場を通じて、異なる国々や文化背景を持つ皆さまが、自身の学びや経験を共有することで、お互いの違いを理解し尊重しながら積極的な交流を図り、学びに繋げて頂ければと考えております。

また、新たな友人や同じ志を持つ仲間と絆を深め、共に未来を築いていく第一歩になることを期待し実施しております。



討論会テーマ

各国の「生活習慣、慣習、常識、環境問題、マナー等」をもとに、

- 冠婚葬祭 ● 小中高の学校事情 ● 文化や習慣の違い
- 食事マナー ● 住宅事情 ● ゴミ事情 ● 祝祭日事情
- 就職活動 ● ワークスタイル ● こどもの習い事事情

から討論会テーマをグループ毎に選定。

理事挨拶

市原国際奨学財団 理事
市原 寛之

皆さま、こんにちは。

公益財団法人 市原国際奨学財団の理事を務めております、市原寛之です。

本日は奨学生討論会が開催され、皆さまとお会いできたことをとても嬉しく思います。

私も、この財団に関わらせて頂いて、まだ日が浅くこれからいろいろな勉強を重ねていく立場です。

また、皆様とも年齢は近いと思いますので、お気軽にお話しただけたらと思います。

奨学生討論会の目的は「奨学生同士の交流」と「異文化の理解」です。

私も、数年ではありますが海外留学をした経験がありますので、異文化の方々と人間関係を築き、今でも交流があります。

討論会という場を通じて、異なる国々や文化背景を持つ皆さまが、自身の学びや経験を共有することで、お互いの違いを理解し尊重しながら積極的な交流を図り、学びに繋げて頂ければと考えております。

また、新たな友人や同じ志を持つ仲間と絆を深め、共に未来を築いていく第一歩になることを期待しております。

奨学生討論会が、皆さまにとって有意義な時間になることを心より願っております。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

グループ名 7月ブラックモンブラン (略してブラモン)
テーマ 冠婚葬祭：婚
国籍 日本・インドネシア・中国・韓国



留学生の感想 名古屋工業大学 L・Y 韓国

グループごとに違うテーマで色々な国の文化について聞けたのでとても楽しかったです。

中国の結婚式は式場に入るまでの過程が長く、インドネシアは私たちがよく知っている式場と披露宴の概念が違っていたので、とても変わった話を聞くことができたと思います。

また他のグループへの発表でも興味深い話が多く、手で数字を数える方法や酒文化など面白い話をたくさん聞くことができました。

異文化理解を目標に今回の討論会を楽しんだのですが、違う視点と価値観をみることができ、コミュニケーション能力や個人的な知識が増えて勉強になる時間でした、ありがとうございました。

日本人学生の感想 愛知教育大学 F・K 日本

中国の結婚式は豪華絢爛で、費用もどの国よりも高く、服も真っ赤でとても特徴的であった。式の手順もとても複雑だった。韓国は日本と似ているが、韓国の伝統的衣装チマチョゴリに栗を投げる文化がとても面白いと思った。インドネシアは宗教的にキスがなかったり、衣装が男性女子共に白基調であったり、式で初めて手をつなぐなど、宗教的な影響が大きかった。

討論会では他の日本人奨学生、留学生の方の意見交流が出来たり、仲を深めることが出来てとても素敵な会だと考える。

次の交流会でも他の奨学生の方々と親睦を深めていきたい。

グループ名 新聞紙タワーバトル1位
テーマ 文化や習慣の違い
国籍 日本・中国・ネパール・ベトナム



留学生の感想 星城大学 G・B ネパール

最初はみんなの意見がバラバラで、意見をまとめるのは難しかったです。でも話し合いをしながら、テーマを決め、各国の異文化について様々なことを学ぶことができました。

また質疑者として質問し、質問に対する答えを聞いて、これも、あれも、それも知りたくなり深く興味を持ってました。

討論会を通じて、奨学生のみなさんとたくさん関わりを持ち、勉強に役立つことも多く学ぶことができ、多文化についても知ることができました。

これからも色々な交流会を通じて、新しい奨学生の方や全ての奨学生の方ともっと仲良くして、自分の視野をより広げたいと思っています。

日本人学生の感想 名城大学 S・Y 日本

ジェスチャー、交通ルール、初対面の人への挨拶、飲酒への価値観、時間を守るという習慣、写真を撮るときのポーズ、校則、お年玉についてというような話題をそれぞれの国での考え方や常識などを共有しました。数の数え方、飲酒への認識などが他の国では異なることがいくつもあり、とても刺激的で有意義な時間を過ごせました。逆に、写真のポーズや他のグループの発表で聞いた、3秒ルール、から揚げにレモンをかけるときの配慮などちょっとしたことに対して共通の考えがあるのも面白いと思いました。討論会を通して自分の中での当たり前を他人にあてはめず、様々な価値観や考え方があることを常に頭の片隅に置き、違いを受け入れていきたいと思いました。お互いを知ることで配慮しあったり、助け合ったりすることに繋がれると思うので、常識にとらわれすぎない柔軟な考え方ができる人になりたいと感じました。

グループ名 キット、ワクワク
テーマ 食事マナー
国籍 日本・ミャンマー・中国・パキスタン



留学生の感想 名古屋芸術大学 Y・W 中国

特に印象深かったのは、自国の文化において食事の音に対する礼儀について話し合った時です。どの文化も基本的には食事の音を好ましく思わない傾向がありましたが、その理由や背景は全く異なっていました。例えば、中国では食器を叩く音は乞食の象徴とされ、ミャンマーでは食事前に指でテーブルを叩くことが不吉とされます。このように、食事マナーについての議論を通じて、各文化の奥深い論理や価値観に触れることができました。今回の討論会は単なる文化紹介の場を超え、参加者全員が深い理解と共感を得ることのできる貴重な体験となったと考えています。今回の学びを今後の研究や生活に活かしていきたいと思っています。交流会を主催してくださった財団の皆様、そして共に学び合った奨学生の皆様に心より感謝申し上げます。

日本人学生の感想 名古屋工業大学 T・A 日本

グループに分かれてテーマを絞り話し合うことで異文化交流を図ることが可能になり、かつ自分の知らない知識や考え方を共有することができ、とても有意義な時間だった。

グループテーマである各国の食事文化に関して話していて思ったことは、国によって共通する部分があれば国ごとで異なる部分もあって、それぞれの文化の組み合わせの数だけ国が存在するのだと改めて考えさせられるきっかけとなった。

また、他のグループの発表を聞いて、自国と他の違いの話がとても興味深いと思い他の人にも知ってもらいたいと思ったため、自分から積極的に他の国について調べてみたいと思った。

グループ名 チョコレート

テーマ 冠婚葬祭：冠

国籍 日本・中国・ベトナム・韓国



留学生の感想

愛知工業大学 L・J 中国

今回の討論会を通じて、異なる文化背景を持つメンバーと共に成人式について深く議論することができました。日本の成人式は特別な儀式であり、20歳という年齢に達することの意味を再確認する機会となりました。一方で、中国、韓国、ベトナムにも独自の成人に対する儀式や行事があり、それぞれの文化の中でどのように成人を迎えるのかを知ることができました。

特に印象的だったのは、韓国の若者が年末にコンビニに並び、18歳になった瞬間を待つという風習です。このような具体的なエピソードを通じて、他国の文化に対する理解が深まりました。

この討論会は、異文化理解を深める良い機会となり、今後の国際交流やコミュニケーションに役立つ貴重な経験となりました。

日本人学生の感想

名古屋大学 F・W 日本

日本にある成人式はかなり独自のものであることを知ってとても驚きました。成人の感覚的・法律上のとらえ方の違いが大きく異なっていることや、外国人の方でも日本に住んでいると成人式の案内が来ることも驚きました。

ほかのグループの発表も初めて聞いたことはばかりで興味深かったです。外国の独特の文化や価値観を知ることができたのが面白かったです。

今回の討論会ではチームの皆さんとたくさん話すことができ、自分から発言すると皆さんがいいねと言ってきて、全員で考えている感じがするのがすごく楽しかったです。

ここでしかできない文化の交流をすることができました。貴重な機会を作っていただけてありがとうございました。

グループ名 いいグループ

テーマ 小中高の学校事情：受験

国籍 日本・中国・韓国・マレーシア



留学生の感想

愛知東邦大学 G・Y 中国

私たちのグループ内で各国の進学試験の方法が異なっていることに驚かされました。

この討論会は非常に楽しく、さまざまな国の知識や文化を学ぶことができました。

そして自由にコミュニケーションできる素晴らしいプラットフォームを提供してくれており、みんなが自由に討論に参加できる場を構築していると思います。

今回の皆さんとの会合を心から楽しみにしています。

日本人学生の感想

藤田医科大学 K・T 日本

世界各国の受験について意見交換を行うこととなりました。

私が一番驚いたのは韓国のお受験事情でした。日本よりも学歴至上主義で大学受験の競争率が非常に厳しい印象でしたが、幼稚園や小中は受験というものがなくその学区における抽選、高校も特別校（科学系、外国語系、芸術系）を除いて受験はないとのことでした。もう一つ驚いたのは、マレーシアの大学事情でした。マレーシアの大学は受験がなく、高校時の成績と卒業証明書で入学できるとのことでした。

大学に進学してからは普段あまり気にしないトピックですが、こうして改めて考える場を与えられたことで新しい発見や様々な意見に触れることができ、自分の視野が広がったように感じました。

発表資料

